

「これからのキャリア、働き方を考える」

常光 瑞穂

株式会社ライフキャリアサポート 代表取締役

(人と組織の Win-Win で幸せな成長を支援する心理コンサルタント)

「働き方は大きく変化している。『キャリアは会社から与えられるもの』から『一人ひとりが自らのキャリアを選択する』時代となってきた。」——2023年5月に政府から出された「三位一体の労働市場改革の指針」はこの一文で始まっています。

近年、社会の在り方や働き方が大きく変わってきているのを実感している方も多いのではないのでしょうか。一人ひとりが自分に合った働き方を選べるようになり、生き方の自由度や選択肢が増えていることはとても素敵なことだと思います。しかし一方で、自ら選び、実践し、切り拓いていく難しさも増しています。

中堅・ベテラン世代からは、「これまでは『仕事だから仕方ない』と自分で選ぶ余地がなかったのに、急にキャリア自律を突き付けられてもどうしたらいいんだろう？」という混乱や戸惑いの声も伺います。若手世代はキャリア自律の認識は高いものの、それが「将来ビジョンを描かなければ」という過度なプレッシャーや焦りにつながっていることもあります。

企業には、従業員のキャリア自律支援が求められますが、「そんなことをして退職者が増えたらどうしよう？」とドキドキしている経営者や人事担当者もいます。

このように働き方が大きく変化している今、キャリアデザインや人的リソースの活用という観点から少し話題提供をさせていただきます。

「アイデアとは既存の要素の新しい組み合わせ以外の何ものでもない」と、ジェームス・W・ヤングが述べているように、キャリアや働き方についても、自分一人の脳みそだけで新たなアイデアを生み出そうとしても、限界があります。

まずは様々な情報や他の人の考え方ややり方に触れることで、それらを組み合わせ、新たなアイデアが浮かび、未来のビジョンが見えてくることも多いものです。

様々なフィールド、様々なお立場で活動されている皆様と一緒に、これからのキャリアや働き方について考え、意見交換できればと思います。

【略歴】

- ・ 1993年京都大学工学部機械工学科入学
- ・ 修士課程修了後メーカーに就職するが、長時間労働が合わず1年3か月で退職。自分自身の将来の展望が見えなくなり、キャリアデザイン・心理学を学び始める。
- ・ 2003年開業。
- ・ 国家資格キャリアコンサルタント、臨床心理士、修士（工学、人間科学）